

公民館講座に参加しました！

体形で3位、
体組手で1位！

女子団体形で3位、
男子団体組手で1位

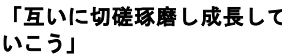
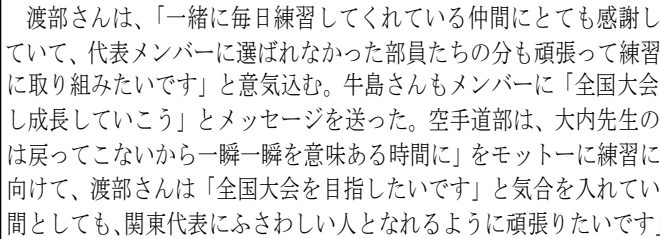
した。1日目はルールや見どころについて公民館で学習。記者が参加した2日目は、ブライन्दサッカーの日本代表チームの練習やプレーの様子を小平市内の公式練習場が華がった。プレーを見学

ブラインドサッカー®の様子
©Haruo.Wanibe/JBFA

「MARU」フラサカ!パーク」で、視覚障害者と晴眼者が協力してプレーをする楽しさを知づけた講座だった。(蓮

草きさむら

手話という言語が好きだ。1番の理由は、私の周りで手話を使う人が皆生き生きとしているからだ▼手話に出会ったのは中学生のとき。部活見学で、手話部の先輩が手話で普通に会話していたかつよかった。会話がすべて目で見えるのがとても新鮮だった▼手話は、手の形や動きだけのものではない。「おつかれさま」は曲げた腕をもう一方の腕でポンポンとたたくのだが、丁寧に笑顔ですると「おつかれさまです」となり、強くニヤニヤしながらすると「おつかい」と友達同士のような軽い表現になる▼気持ちやニュアンスを顔や動きでも表現するから、楽しいときは思い切り楽しい顔になることで、気持ちもさらに楽しくなっていく。手話を使う人が生き生きしていると感じるのは、これも理由だろう▼とはいえ、手話もあくまでも伝える手段の一つだ。手話が堪能ではない人もいるため、耳の聞こえない方への話はず手話である必要はない。筆談やジェスチャーでも意思疎通をすることが出来る▼道で「I, Kodaira stati - on, want, go, where-」と文法を完全に無視した文で聞かれても、その人が困り顔で話していたら、なんとなく意味が分かってると思う。その困っている人に対して、こちらも一生懸命身振り手振りで説明してあげればいい。テストでもない限り英語には英語で返さないといけないわけでもなく、手招きをして一緒に小平駅まで歩くのも一つの手だ▼人に伝えるにはそのことを伝えたいと思う気持ちが一番大切だ。その気持ちがあれば、身振り手振りなどいろいろな方法で伝えられるはずだ▼開催中の東京2020デフリンピックの競技会場でも、声で会話している人でも手話や身振り手振りをしながら話している人が多く、話していてわかりやすかった。私もそんな風にな話してみようと思う。



出場できるよう、互いに切磋琢磨
と言「1位以外いねえから、時間
助んでいるそうだ。次の関東大会に
た。牛島さんは「空手だけでなく人
と思いを語った。 (蒲)

手話を覚えよう！⑪

今回手話を実演してくださったのは、英語科の福江幸喜先生と理科の岡田篤先生。第11弾で紹介するのは、東京デフリンピックで応援するために使うサインエールの一つ、「日本、メダルをつかみとれ！」だ。

両手の親指と人差し指を腹の前でくっつけて、つまみながら左右に引っ張る

日本

こういう機会に普段かかわりのない手話に興味をもってほしいと思います(福江先生)

右手の親指と人差し指でマルを作る。左手は、右手の上で胸の前で地面と平行にする。その後、右手を自分と反対の方向にくぐらせ、左手の上まで持ってくる。そして、右手を小指から握りしめる。

メダルを

聴覚ではなく視覚でコミュニケーションが取れるのは良いことだと思います(岡田先生)

つかみとれ！

手話を覚えよう！⑫

今回手話を実演してくださったのは、英語科の坂内新先生。第12弾で紹介するのは、サインエールの一つ、「大丈夫、勝つ！」だ。

大丈夫、勝つ！

右手の四本の指をそろえて、左肩、右肩をたたき、こぶしを握り締める。左手でも同様に行う。

手話を身につけるとより多くの人とコミュニケーションがとれますね。ドラマ「オレンジデイズ」を見て、手話の魅力を知りましょう！(坂内先生)

サインエールを覚えて、会場で応援しよう！！

私たちがこれから観戦できる三連休の各競技の日程を紹介する。東京でデフリンピックが開催される貴重な機会だ。興味のある競技をぜひ会場で見、選手を応援しよう！！

	22日(土)	23日(日)	24日(祝)	25日(火)					
陸上競技	○	○	○	○	駒沢オリンピック公園など	自転車(マウンテンバイク)	○	○	○
バドミントン	○	○	○	○	京王アリーナ	オリエンテーリング	○	○	伊豆大島
バスケットボール	○	○	○	○	大田区総合体育館	射撃(観戦不可)	○	○	(観戦不可)
ビーチバレーボール	○	○	○	○	大森ふるさとの浜辺公園	水泳	○	○	東京アクアティクスセンター
ボウリング	○	○	○	○	東大和グランドボウル	卓球	○	○	東京体育館
自転車競技(ロード)	○	○	○	○	日本サイクルスポーツセンター	テコンドー	○	○	中野区立総合体育館
サッカー	○	○	○	○	Jヴィレッジ	テニス	○	○	有明テニスの森
ハンドボール	○	○	○	○	駒沢オリンピック公園	バレーボール	○	○	駒沢オリンピック公園
空手	○	○	○	○	東京武道館	レスリング(フリースタイル)	○	○	府中市立総合体育館
						レスリング(グレコローマン)	○		府中市立総合体育館



聞こえない世界を体験！

東大和市のデフリンピックイベントに参加してみた

デフ日本代表「会場で会えるのが楽しみ」

10月11日(土)、東大和市の東大和グランドボウル・インドアテニスコートで東大和市主催の「デフリンピック丸ごと体験フェス」が開催された。編集部4名は土曜日の授業後、雨の中自転車を飛ばしてイベントに参加した。(63回生編集部)

日本代表トークショー

第1部前半では、東京デフリンピック2025に出場するデフアスリート4名が招かれたトークショーが行われた。まだメダルを取ったことがないと話すが、陸上の門脇翠選手は、最低でもメダルを取ることが目標だそう。「応援よろしくお願いします」と笑顔を見せた。ボウリングに出場する石井和一選手は、努力は大事だと真つ直ぐに語る。大会本番に向けて「頑張りたいと思います」と意気込みを話した。卓球に出場する瀬光晋太郎選手は、金メダルを取ることが目標に掲げているという。「記録に残るような試合にしたいです」と前向きな姿勢を見せた。見てくれる人が熱くなれるような試合にしたいと思いを語るのは、男子バレーボールに出場する高橋竜一選手。観覧席へ向けて「東京デフリンピックで会えることを楽しみにしています」と話した。

手話ダンスで魅了

第1部後半では、手話ダンスパフォーマンスなどが披露された。

デフ陸上



スタート合図は「スタートランプ」という機械を使用する。オンユアマークで赤、セットで黄、ゴーで緑、と合図を光で示す。実際に体験すると、タイミングが掴めず出遅れまくって撃沈してしまった…。

僕たちが頑張るので、高校生の皆さんも青春を楽しんでください(北谷宏人選手・左)

何か目標を見つけて努力する姿は私たち選手から見てもかっこよく思います。なので、何か目標を見つけて頑張ってみてください(門脇翠選手・右)



イベントで指導してくれたデフ陸上日本代表の門脇翠選手(右から3番目)と北谷宏人選手(右から4番目)。一緒に「デフリンピック」という手話で記念撮影！



雨の中、多くの人が集まった

た。会場全体が一体となって盛り上がり、観客席にはたくさん笑顔が見られた。第2部では、陸上・バレーボール・卓球のデフ競技を、各競技の日本代表選手から教わりながら体験することができたので、紹介する。

デフバレーボール

日本代表に直接アドバイスをいただく編集部員。デフバレーボールの難しさを体感することができた。(左)



聞こえないけれど、声を出すようにして気持ちを相手に伝えるようにプレーしています(高橋竜一選手)



バレーボールは耳栓とヘッドホンをしてデフ競技を体験。日本代表の高橋竜一選手から指導を受けた。実際にやってみると味方の声が聞こえづらいのはもちろん、自分の意図が伝わっているのかもわからなくて不安になった。お互いに聞こえない中で、選手たちはどれほど時間をかけて自分たちが持つハンドに向き合っているのか、考えさせられた。



たくさんのお土産をいただいた

今回デフ競技体験を通して、聞こえづらい・聞こえないというハンデを持ちながらも戦っているデフアスリートの方々の偉大さを実感した。ぜひ実際にデフリンピックの会場に足を運び、デフアスリートや、使われる手話などに触れてみよう。それだけでも、自分の知らない世界を知れる良い機会となるはずだ。

デフ卓球



耳栓とヘッドホンを付けてデフ卓球を体験。周りの音が混ざるように聞こえて、距離感やタイミングを掴むのが思った以上に難しい。指導してくれた卓球日本代表の瀬光晋太郎選手によると、補聴器を付けているといつも周りの音が混ざって聞き分けが難しいそうだ。卓球は回転がかかっている球の音と、かかっていない球の音が全然違うのだが、補聴器ではその聞き分けもできないという。実際に、跳ねた球の軌道が読みづらくて、ついていくのが精いっぱいだった。

実際に選手たちが手話を使っている様子などを試合会場に足を運んで見てほしいです。何より、日本選手が金メダルを取れるように応援してほしいです(瀬光晋太郎選手)

